



「作品展」で地域交流推進 水彩画・ちぎり絵・切り絵など展示

四年目を迎えた地域交流作品展は現在、新高尾公民館・あすなろ（水彩画グループ）、和紙ちぎり絵の会などの他、切り絵などの作品展を開催中で、施設利用者をはじめ、面会者など多くの皆様に楽しんで頂いています。

「あすなろ」は水彩画作品六点を二号館一階、「和紙ちぎり絵の会」はちぎり絵作品十一点を一号館二階のオーブンスペースにそれぞれ展示しています。

本年は合計十一回の作



品展を開催し、地域の皆様と交流を深めることが出来ました。関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。



横東切り絵楽!

平成30年12月10日発行
第51号

〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211

社会福祉法人健全会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

「第四回運営推進会議」

今年度の第四回運営推進会議がこのほど、高崎花の苑内で開かれ、苑内状況報告に加え、平成三十年における地域交流実績の報告および説明がありました。

地域交流実績報告内容は以下の通り。（数字のみ）

★ 『地域交流イベント』（各種地域芸能ボランティア等による交流会）実施回数Ⅱ延べ四十六回（インフルエンザ流行期の二月～三月は中止）

★ ボランティア等来苑者数Ⅱ延べ百九十八名

★ 『地域交流作品展』（地域の絵画グループなどによる作品展）作品展実施回数Ⅱ十一回

カラオケ発表会に参加 （すみれ会）

すみれ会のカラオケ発表会が十一月十五日、新保田中住民センターで開かれ、高崎花の苑からご利用者六名が三名の職員とともに参加しました。すみれ会は矢野利子先生が教える地域のカラオ

ケグループで、年一回の発表会に招待を受けるなど、以前から当施設と交流を結んでいます。発表会では、グループの皆様がそれぞれ華やかな衣装で日頃磨いた持ち歌を披露された他、参加者全員で歌謡曲や童謡などを歌い、終始和やかな時間を過ごしました。

「僕がジョンと呼ばれるまで」上映会に出席

認知症の理解と支援の輪を広げるための上映会（主催Ⅱ「僕がジョンと呼ばれるまで」高崎市上映実行委員会）がこのほど、市総合福祉センターで開かれ、高崎花の苑職員四名が参加しました。

映画はアメリカ・オハイオ州の高齢者介護施設で、認知症入所者がある取り組みに挑戦していく中、症状の改善や様々に変化していく姿を描いたもので、世界的に話題を呼んだ作品です。

ここで、参加者のうち、二号館竹田聡美職員（ユニットリーダー）の上映会の感想とそこから

ケグループで、年一回の発表会に招待を受けるなど、以前から当施設と交流を結んでいます。発表会では、グループの皆様がそれぞれ華やかな衣装で日頃磨いた持ち歌を披露された他、参加者全員で歌謡曲や童謡などを歌い、終始和やかな時間を過ごしました。



で自信を取り戻し、生きる楽しさを感じます。すると、日常に活気が戻り「昔の自分」を取り戻し始めます。その過程に多くの感動的場面がありました。

私達職員は入所されてからの利用者様しか知りませんが、一人の利用者様には、その方が歩んできた人生、共に過ごした家族や友人とのかけがえのない思い出があります。その中にこそ「その人らしさ」があると思います。私達職員が何を大切に考え、利用者様と接していくべきかを改めて考えることが出来ました。

（二号館職員 竹田聡美）



ユニットたより

「初の漬物作り」

十一月のユニット行事では、利用者様の協力のもと初めての漬物作りを行い、花の苑で収穫した白菜の他、茄子、大根、カブ、キュウリなどを漬けました。

漬物は、野菜を細かく切り、袋に入れてもみもみど・塩だけで漬けたものや、昆布、柚子などを入れたものを作り味比べをしました。

また、ぬか漬けはぬか床から作りました。皆様、昔から作り慣れているだけあり、調味料は目見当で手際よく練り、ぬか床もあつという間に出来上がりました。その中に、用意した野菜をたくさん入れて、ぬか漬けは翌日



以降までおあずけ。早速、次の日の昼食時に取り出し、皆さんに召し上がって頂きました。「美味しい」「ご飯に合うね」と

おかわりをされる方もいて、初の漬物作りは無事終わりましたが、皆様には時節柄、懐かしさにつながるイベントだったと思います。

(Dユニット K)

「寒さ対策でレク」

気が付けばもうすっかり寒い季節となりました。そんな中、身体を動かして温めてもらおうと、B・Cユニットでは「風船バレー、ボーリングレク」を行いました。

はじめは「これから何が始まるんだろう・・・」と不安な表情を浮かべていらつしやいました。が、いざ風船バレーが始



まると、皆さん真剣モードに突入。いつもあまり笑顔を見せて下さらない方も、この時ばかりはニコニコと笑顔でした。

そして、次はボーリング。一人ずつ順番にペックトボットのピンに向かってボールを投げます。ストライクは難しかったですが、少しでも多く倒そうと頑張っていたらいいました。

普段、どうしても身体を動かす事が少ないので、この後は、心と体のリフレッシュにもなり、いつもよりおいしくおやつを頂きました。

(B・Cユニット K)

「クリスマス飾り制作」

E・Fユニットでは、手作り制作が好きな職員と共に、季節に合わせて利用者様と壁飾り制作に取り組んでいます。

ユニット内に鮮やかな飾りが増える度に、ユニット内を散策するのが楽しみと、ご家族からも好評をいただいています。クリスマスに向けての空間演出は、サンタクロー



ストナカイのちぎり絵プラス毛糸を使った貼り付け画にしました。その他、星空に見立てた壁画制作では、夜空を丁寧に刷毛で塗ってご協力いただきました。

制作をお願いをするど、皆様快く参加してくださり、会話も弾みます。実際に参加されない方も「見ているのが楽しい」と、出来上がっていく様子を楽しみにされ「次は何が出来るとか楽しみだね」と、期待されております。

今後も毎月の壁飾り制作は脳と指のリハビリを兼ねて行い、ゆとりのある日常生活を演出していきたいと思えます。

(E・Fユニット Y)

「和やかに合同誕生日会」

十一月のお誕生日会はAユニット・石山正一様、佐藤武様、そしてシヨートステイの佐藤光代様、中村公己様四名による合同で実施しました。

今回は始めに利用者様から自己紹介や誕生日を迎えられたことへのコメントを頂き、その後、雑談へと移行。満面の笑顔でおしゃべりする人や普段は言葉少ない方も職員の声掛けに大きな声で応えて下さったり、和やかにまた、心通うひとときとなりました。

この日のおやつはお好み選びのトッピング形式とし、皆様楽しく召し上がって頂き、最後に記念撮影を行いました。

(A・S・Sユニット W)



委員の一言メモ

★一年間、お世話になりました。多忙な年末年始となりませんが、心に「ゆとり」を持って新しい一年を迎えたいと思います

(貴) ★委員となり、約一年。「読みましたよ」と言われると、嬉しいです。これからは、もっと文章力を上げたいと思っております(奈) ★今年は暖冬とのこと。ウィンタースポーツが好きな私にとっては、少し残念な冬になりそうです(明) ★早いもので入職1年になります。初心忘れず、これからも出来ることを見つけて取り組んでいきます(恵) ★今年も残りわずか。新社会人として出発し、時の経つはやさに驚いています(羽) ★一年間の料理レクは、皆様にとって多くの楽しい思い出を刻むことが出来ました。来年も乞うご期待です(章) ★地域の行事にご利用者様と一緒に参加。地域の皆様が温かく歓迎してくださりました(美)

うれしくなりました(美)